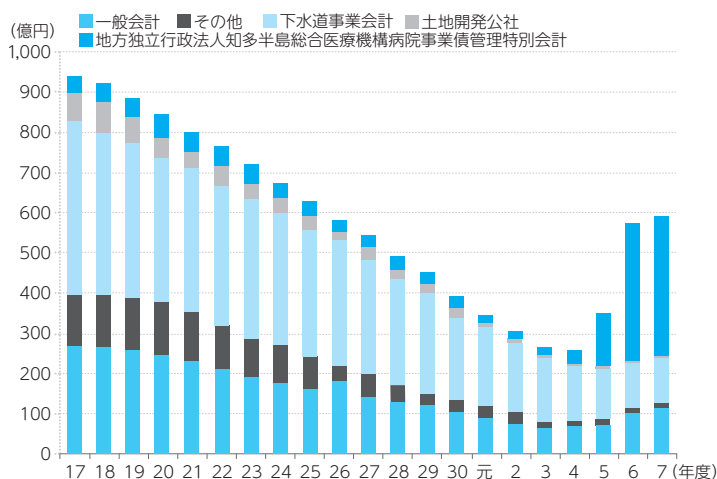


令和7年度 予算規模(会計別)

会計区分		令和7年度
一般会計		490億8,000万円
特別会計	乙川中部土地区画整理事業	4億7,457万円
	JR半田駅前土地区画整理事業	5億7,146万3千円
	地方独立行政法人知多半島総合医療機構病院事業債管理	14億847万8千円
	駐車場事業	4,880万3千円
	モーターボート競走事業	612万4千円
	国民健康保険事業	99億3,663万3千円
	介護保険事業	98億2,562万円
	後期高齢者医療事業	20億3,200万2千円
計		243億369万3千円
企業会計	水道事業(支出)	32億6,743万8千円
	下水道事業(支出)	57億3,351万2千円
	計	90億95万円
合計		823億8,464万3千円

地方債残高の推移



特別会計

特別会計とは、特定の事業を一般会計と区別して処理するための会計です。特別会計の予算額合計は243億369万3千円で、対前年度比6.3%の増となります。まちの基盤づくりとして、乙川中部土地区画整理事業、JR半田駅前土地区画整理事業を引き続き実施します。新規の特別会計として、病院事業債を管理するための地方独立行政法人知多半島総合医療機構病院事業債管理特別会計を設置します。その他、国民健康保険事業、介護保険事業、後期高齢者医療事業の医療、保険事業などを実施します。

企業会計

企業会計とは、地方公営企業法が適用される公営企業の会計で、水道事業、下水道事業があり、令和7年度の2つの企業会計の歳出合計は、90億95万円となり、地方独立行政法人化に伴う半田病院事業会計の廃止により、対前年度比81.4%の減となります。

一般会計、特別会計、企業会計を合わせて、半田市全会計の予算総額は、823億8,464万3千円で、対前年度比31.4%の減となります。

地方債残高

地方債残高については、亀崎小学校改築等事業などにより、令和7年度末には土地開発公社分を含めた全会計合計で、前年度に比べ、約11億円増の約591億円となる見込みです。今後も、公共施設の更新等が控えており、財源確保のために市債残高が増加に転じるため、適正な規模で地方債を発行し、健全で持続可能な財政運営に努めます。

令和7年度当初予算の主な取組

●はたらく親を応援する施策

3歳未満の2人目の子以降の保育料を無償化します

1億3,123万円

3歳未満児の第2子以降の保育料を市立、私立にかかわらず所得制限等の条件を設けず、市独自に無償化します。

小学校内に放課後等の児童の居場所づくりを推進します

1億7,815万円

小学校敷地内に、放課後児童クラブ、児童センター、放課後子ども教室の機能を集約します。令和7年度は、4月に開設する横川小学校での運営と、改築中の亀崎小学校での整備工事を行います。

物価高騰対策として、給食費を支援します

1億2,461万円

物価高騰対策として、子どもの給食の質と量を確保するために、学校給食において、小学生1食あたり50円、中学生1食あたり60円、幼稚園・保育園等の給食においては、1食あたり40円を支援します。

協和保育園と成岩幼稚園を統合・こども園化します

1億5,778万円

市立協和保育園と市立成岩幼稚園を統合し、令和9年度の新たな市立認定こども園の開設に向けて、令和7年度は前年度に引き続き、基本・実施設計等を行い、新園舎建設工事を開始します。

保育園等への入園選考事務にAIシステムを導入します

991万円

保育園等への入園受付事務を円滑に行うため、ICT(AI入所選考システム)を新たに導入し、入所選考に係る時間を短縮します。保護者への入所決定通知を早め、保護者の仕事復帰や育児休暇の延長など、勤務先との調整がしやすくなります。